

2015年3月期 決算説明会における質疑応答

開催概要

- 【日 時】2015年5月14日(木) 13:30~14:30
【場 所】株式会社ゼンリン 東京本社 (ワテラストワー12階)
【出席者】代表取締役社長 高山善司
代表取締役副社長 網田純也
執行役員コーポレート本部長 松尾正実

質疑応答概要

以下は、質疑応答の概要をまとめたものです。

Q1：ICT事業について、2015年3月期はスマートフォン向け有料会員数が減少とあるが、今後も減少傾向が続くと見込んでいるのか。

A1：減少幅は緩やかになって行くと考えていますが、減少傾向は変わらないと考えております。今後は他社サービスと差別化されたコンテンツや機能を拡充させ、ビジネスユースのサービスも含め検討・開発を進めてまいります。

Q2：各事業について、2016年3月期のそれぞれの変動要素について教えて欲しい。

A2：【出版事業】

住宅地図帳など住宅地図関連商品の売上を維持し、前期並みと予想しております。

【GIS事業】

GISパッケージはストック型ビジネスであるため、既にリリースしている2タイトルの売上加え、今期リリース予定2タイトルの新規ユーザーにより、増収と予想しております。

【ICT事業】

当社地図データの採用を拡大させ、前期並みを維持してまいります。

【ITS事業】

各カーメーカーの新車販売動向などの影響を受けるものの、前期並みと予想しております。

【海外事業】

他社整備の海外地図データを当社の顧客が活用できるように編集するオーサリングビジネス等の強化により、増収と予想しております。

【その他事業】

2015年3月期 第3四半期より連結の範囲に含めた子会社の寄与により増収を見込んでおります。

以上